



# 学校評価

学校の教育目標

「こころ豊かにたくましく、自ら学び続ける南っ子の育成」

～ 子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践 ～

めざす児童像

よく考えてやりぬく子  
＜確かな学力＞

素直でやさしい子  
＜豊かな心＞

明るく元気な子  
＜健やかな体＞

自己評価 《A：よくできている B：できている C：あまりできていない D：できていない》

重点目標	評価項目	達成状況		改善の方策
確かな学力を培う	・ 基礎的、基本的な学習内容の定着 ・ 思考力、判断力、表現力の育成 ・ 学びに向かう力の育成	B B B	B	・ 基本的な学習技能習得のため、基本の聴型や話型を示し、各学年で指導し続ける ・ モジュールの時間（朝の学習）運用をさらに充実させる ・ 紙、デジタル両方を使い、学力向上を図る
豊かな心を育てる	・ 人権、道徳教育の充実 ・ 内面理解に基づく生徒指導 ・ 特別活動の推進	B B B	B	・ あいさつ、整理整頓は引き続き指導を行う ・ 教師が手本となる行動を実践し、子供達に指導を行う ・ 異学年との交流をさらに充実させる
健やかな体を養う	・ 体力づくりの推進 ・ 望ましい生活習慣の確立と健康教育の推進 ・ 安全防災教育の推進	B B B	B	・ 「できる」だけでなく、個に応じた目標を設定し指導を行う ・ チャレンジ給食（残菜を減らす運動）を続け、子供たちの栄養確保を行う ・ 防災教育推進のため、引き渡し訓練等を行う
特別支援教育の推進	・ インクルーシブ教育の推進 ・ 個別の指導、支援計画に基づく指導 ・ コーディネーターを中心とした組織的な支援	B B B	B	・ 児童の特性に応じた交流学級との連携を図る ・ 次年度への引継ぎを行い、漏れのない指導体制を構築する ・ 会議での情報交換を通して、児童の特性に応じた支援体制をさらに強化する
教職員の資質向上	・ 研修による授業力、指導力向上 ・ ICTの活用 ・ コンプライアンスの順守 ・ 「チーム学校」づくり ・ 業務改善の推進	B B A B B	B	・ ICTを活用するとともに、一人一授業を行うなど、個の授業力・指導力向上を図る ・ 職場研修を充実させ、コンプライアンスの順守を図る ・ 「報告、連絡、相談」の連携をさらに行う ・ さらなる業務の見直しを図り、働きやすい職場づくりを目指す
家庭、地域との連携	・ 学校による情報発信（便り、HP等） ・ PTA、支援ボランティア、地域人材を活用した開かれた学校づくり ・ 中学校区連携ユニットでの相互交流	B B B	B	・ HP、スクリーン等を活用し、情報発信を行う ・ 地域の方とともに、さらに開かれた学校づくりを行う ・ 校区連携を図り、地域の活性化を目指す

## 学校関係者評価（自己評価に関する学校運営協議会からの意見、提言）

- ・ 有用な学習内容が、子供たちの記憶の定着につながると考える。そこで子供が興味・関心をもって取り組める朝の学習を行ってほしい。
- ・ 指導力向上の為、優れた教育実践についての学びを深めるとともに、子供達の実態に即した指導法を確立してほしい。
- ・ デジタル読書の活用も視野に入れ、読書好きな子供の育成に励んでほしい。
- ・ 「できる」だけでなく、その過程も評価に取り入れ、子供達の体力向上を図ってほしい。
- ・ 引き渡し訓練等は、保護者の参加率が高い行事と結び付け時期や方法を検討してほしい。
- ・ あいさつなどしている子はしている。あいさつ運動を中学校と連携して行うことで、効果があると思う。
- ・ 「あいさつ」は、時間帯に応じた適切な挨拶を教師が提示するとともに、教師自らが率先して実践を行ってほしい。
- ・ あいさつや整理整頓は、大人が範を示し、行動することが重要である。
- ・ チャレンジクラブのような異学年交流は非常に有意義であるので、是非学校でも同様の機会を拡充してほしい。
- ・ 放課後のトラブル対応については、地域及び保護者が主体的に対応していくように周知がいるのではないかと、また学校ばかりに頼らず、地域も対応するようにしていきたい。
- ・ 教員が様々なことに気を配ってくれていることに感謝する。